

## 第6回武蔵野市図書館運営委員会選書部会の記録

日 時 平成 17 年 5 月 9 日 ( 月 ) 午後 6 時 30 分  
場 所 中央図書館 3 階視聴覚ホール  
出席委員 毛利和弘部会長 赤星昌子委員 石田和以委員 池田泰委員  
山本輝子委員 村田吉祥寺図書館長 加藤サービス担当係長  
事務局出席職員 三木館長 山中管理係長 森川西部図書館長 春日図書担当係長  
並木主任 尾上主事 船崎専門委員

### 議題及び内容

#### 主な協議内容

#### ( 1 ) 事務局からの報告事項

人事異動に伴い、委員および事務局出席職員に変動が生じた。

前回会議の指摘を受け、新聞縮刷版と索引を並べて配架することにした。

#### ( 2 ) 議題

武蔵野市図書館の選書について

・視聴覚資料の収集方針について

その他

冒頭、会議の公開について、運営委員会が公開されることから、本委員会は非公開との方針が確認された。その後、視聴覚資料の収集基準を事務局から説明。主な意見等は以下のとおり。

- ・視聴覚資料は利用が多く、かなりの所蔵もある。運用面の充実が特に重要な課題となる。
- ・視聴覚資料購入のリクエストは受けないのか？  
著作権の関係上、貸出可能なものは高価であり、予約の制約もある。また、資料自体の数も少ないので現時点では困難。
- ・視聴覚資料は予約、取寄せができず、特に西部や吉祥寺の利用者は非常に不便。対応を。  
新電算システム導入後、視聴覚資料についても各館で受取可能な予約システムを導入する。
- ・書庫の視聴覚資料が調べづらい。自由に閲覧できる所蔵リストをカウンター外にも置くべき。
- ・ビデオは今後無くなるメディア。図書館もDVDに力を入れるべき。ビデオよりコンパクトなので、配架できる数も多くなる。画質も断然良い。ビデオと同様にDVDも貸出すべき。
- ・図書購入費は他自治体に較べても比較的余裕がある。視聴覚資料の予算が少ないといってもそれは配分の問題。図書館も本だけではだめな時代。各資料間のバランスが重要。
- ・視聴覚資料の運用が充実すれば、それを借りに来館する若い利用者の読書推進にも繋がる。
- ・歌詞カードが無いCDが見られる。全ての歌詞カードについてコピーを準備できないか。  
オペラ等大部なものもあり実務上困難。紛失したものは曲目リストをつけて対応している。
- ・現状では幅広いジャンルの資料を収集しているが、現在はレンタルビデオ店も容易に利用できる。教養的な資料に特化するなど、棲み分けの方針を打ち出すことが市民にも有益では。
- ・雑誌ほどではないが、CDの外ケースが紛失することがある。将来的にはICチップに期待したい。開放感を打ち出す新公共施設についても設計の段階から盗難の現実にも考慮を。
- ・体験学習等の調べ学習で視聴覚資料も利用されるよう、学校との連携を更に深める努力を。

次回 平成 17 年 9 月 26 日 ( 月 ) 午後 6 時 30 分から